

平成18年度事業報告書
(平成18年4月1日より平成19年3月31日まで)

I. 事業に関する事項

1. 顕彰事業

1.1 C&C賞

(1) 受賞者の選考・決定

平成18年2月14日に開催された平成17年度第3回審査委員会、及び同3月1日に開催された平成17年度第3回評議員会及び第4回理事会において、2006年度C&C賞の募集要項及び募集から選考に至るスケジュールが審議・承認された。

これを受けて、平成18年4月14日に財団事務局から国内119名、海外95名の有識者宛に推薦依頼状を発信し、締切り期日の同5月31日までに、国内外あわせて23件の候補者(グループ)の推薦があった。これにより過去10年の累積候補者数は125件となった。

受賞者選考に当たっては賞の意義に照らして更なる慎重な選考を行うため、第一回審査委員会の前に予備審査委員会が平成18年6月29日に開催され、累計125件の候補者から21件に絞り込みが行われた。続いて平成18年7月4日に平成18年度第1回審査委員会が開催され、慎重な審議の結果、2006年度C&C賞受賞候補者として次の2グループ2名が選考された。

グループA

坂村 健博士 東京大学大学院情報学環教授
YRP ユビキタス・ネットワークング研究所 所長

業績記

実時間動作を重視した基本ソフトウェア **TRON** を提唱して開発し、技術情報の公開により誰でも利用でき、そして展開させることが可能なオープン・アーキテクチャーの概念によって発展させると共に、組み込み制御システムとして世界に普及させ、どこでもコンピュータの利用が可能な環境(ユビキタス・コンピューティング)の実現に向けた活用によりコンピュータ利用の新たな展開をもたらした業績

グループB

Dr. Robert H. Dennard IBM フェロー

業績記

近年の情報機器で重要な位置を占める半導体集積回路の一つであるランダムアクセスメモリ **DRAM** の基本的な構成と方式を開発し、更に **MOS** 型トランジスタのスケーリング則(微細化規範原理)を提言することにより、今日の情報化社会の発展に多大の貢献をした業績

この選考結果を受けて平成18年7月26日に平成18年度第2回評議員会及び第3回理事会が開催され、審査委員会原案の通り上記2名を2006年度C&C賞受賞候補者として内定した。

各候補者に連絡をとり、いずれの候補者も受賞を快諾され、ここに2006年度C&C賞受賞者を正式に決定した。

(2) 表彰式典

2006年度C&C賞表彰式典を、平成18年11月29日(水)午後3時からホテル日航東京において挙行了した。

まず贈呈式では、招待者と一般参加者計約100名の列席のもとで、末松審査委員長より受賞者及び受賞理由の発表があり、次に佐々木理事長より、2名の受賞者に、賞状、賞牌及び賞金目録が手渡された。続いて受賞者による受賞講演があり、その後、式典参加者を交えたカクテル、受賞者及び招待者によるディナーパーティが行われた。

1. 2 C&C若手優秀論文賞

審査対象論文85件を平成18年9月4日から10月10日にかけて、独創性、有効性等の観点から予備審査を行いその中から14件の受賞候補論文が選考された。これら受賞候補論文14件の中から、平成18年11月14日に開催された平成18年度第2回審査委員会において、2006年度C&C若手優秀論文1件が決定され、平成19年1月26日にNEC泉華荘で開催された助成会において、サトウ・エドワルド・カズヒデ氏(横浜国立大学工学府)に賞金20万円が授与された。

2. 研究助成事業

平成18年3月1日に開催された平成17年度第3回評議員会及び第4回理事会において平成18年度事業計画が審議され、前年までと同様に国際会議論文発表者助成、外国人研究員助成、若手研究員助成の実施が決定し、新規助成活動についても検討することが決定した。基金の低金利状態が続いているが研究助成が好評であることから、助成費予算総額を平成17年度より620万円増額し、3,320万円とすることとした。増額分については、外国人研究員助成者の増員を含む既存の助成事業の増強などの活動費にあてることとした。

2. 1 国際会議論文発表者助成

平成18年度国際会議論文発表者助成は、前年までと同様に前期と後期の年2回の募集(公募)を行った。応募と助成の実績は次表の通りであった。

	前 期	後 期	年間計
応 募 (名)	99	85	184
助 成 (名)	50	48	98
助成額(万円)	1,093	852	1,945

2.2 外国人研究員助成

平成18年度外国人研究員助成は、前年度と同様年一回公募による募集を行なった。助成者は平成17年11月15日に開催された平成17年度第2回審査委員会において4名を内定した。なお、助成期間は平成18年4月より1年間とし、助成額は1名あたり月額10万円で、年間120万円であるが、受給者の内1名は7月に個人的な理由で帰国し、4ヶ月のみの給付となった。

応 募 (名)	21
助 成 (名)	4
助成額(万円)	400

2.3 若手研究員助成

平成18年度若手研究員助成も、前年度同様年一回公募による募集を行った。平成18年11月14日に開催された平成18年度第2回審査委員会において審査が行われ、3名が選考された。助成金は平成19年1月26日に開催された助成会において、1名あたり200万円が支給された。

応 募 (名)	10
助 成 (名)	3
助成額(万円)	600

3. 調査研究事業

平成18年2月1日に平成17年度第2回調査研究運営委員会が開催され、平成18年度事業計画及び予算が審議された。その審議結果に基づいて、平成18年3月1日に開催された平成17年度第3回評議員会及び第4回理事会において、平成18年度事業計画及び予算が承認された。

平成18年4月21日付で、平成18年度調査研究(テーマ「ITによる信頼社会の構築」)を、株式会社国際社会経済研究所(社長:後藤哲郎、東京都港区三田一丁目4番28号)に委託した。

また、国際大学及び多摩大学に対して、それぞれ「世界情報社会サミット以降のデジタル・デバイドとインターネットのガバナンス」、「無線IP電話システムをベースインフラとする日タイ共同実証研究」のテーマにて調査研究を委託した。

【調査研究の主な成果物】

(1)「ITによる信頼社会の構築」調査研究報告書(3分冊)

（株）国際社会経済研究所 平成19年3月発行

I. eInclusionによる全員参加社会の構築

II. インターネット社会における規範意識に関する調査研究
～ネット社会の信頼性構築に向けて～

III. 情報ネットワーク社会における社会関係資本の形成

(2)出版物

『みんなの命を救うー災害と情報アクセシビリティ』

NTT出版 平成18年10月30日発行

『クリエイティブ・シティー新コンテンツ産業の創出』

NTT出版 平成19年2月28日発行

(3)成果発表会

C&C振興財団シンポジウム開催

テーマ：「EUにおけるe-Inclusion政策と情報アクセシビリティの行方」

日時場所：平成19年1月12日／泉ガーデンコンファレンスセンター

4. その他の活動

財団事業の円滑な運営のために設けられたC&C活性化基金により今年度は以下の活動を行った。

1) C&C賞受賞候補者調査

調査委託先： 有限会社 ビジョンブリッジ

調査時期： 2006年6月

II. 総務に関する事項

1. 理事会・評議員会

平成18年度中に次の理事会及び評議員会が東京都港区白金台五丁目7番16号日本電気泉華荘会議室において開催され、各議案が審議・承認された。

(1) 平成18年度第1回理事会（平成18年5月9日）

第1号議案 平成17年度事業報告書及び決算報告書承認の件

第2号議案 次期繰越収支差額処分の件

(2) 平成18年度第1回評議員会（同上）

第1号議案 平成17年度事業報告書及び決算報告書受領の件

第2号議案 理事・監事選任の件

- (3) 平成18年度第2回理事会 (同上)
 - 第1号議案 理事長、専務理事互選の件
 - 第2号議案 常勤役員報酬の件
 - 第3号議案 事務局長委嘱同意の件
 - 第4号議案 評議員委嘱同意の件
- (4) 平成18年度第2回評議員会 (平成17年7月26日)
 - 第1号議案 理事選任の件
 - 第2号議案 2006年度C&C賞受賞候補者審議の件
- (5) 平成18年度第3回理事会 (同上)
 - 第1号議案 2006年度C&C賞受賞者決定の件
- (6) 平成18年度第3回評議員会 (平成19年3月7日)
 - 第1号議案 平成19年度事業計画案審議の件
 - 第2号議案 平成19年度一般会計収支予算案審議の件
 - 第3号議案 平成19年度特別会計収支予算案審議の件
- (7) 平成18年度第4回理事会 (同上)
 - 第1号議案 平成19年度事業計画案承認の件
 - 第2号議案 平成19年度一般会計収支予算案承認の件
 - 第3号議案 平成19年度特別会計収支予算案承認の件

2. 寄附行為の変更の件

平成18年3月1日に開催された平成17年度第3回評議員会及び第4回理事会において寄附行為変更案が承認され、経済産業大臣殿宛に平成18年3月9日に寄附行為変更認可申請書を提出した。申請は同年3月17日付で認可され、平成18年4月1日より変更後の寄附行為が施行されることとなった。主な変更点は以下のとおりである。

- (1) 名称： 変更前：財団法人シーアンドシー振興財団
 変更後：財団法人C&C振興財団
- (2) 目的： 条項内の「シーアンドシー」の表記を「C&C」に変更

3. 名称、目的、理事ならびに資産総額の変更の件

以下につき登記申請書を東京法務局に提出し、各々提出日に受理された。

- (1) 申請日：平成18年6月20日
 内容： 理事および資産総額、ならびに寄附行為の変更に伴う
 名称および目的の変更
- (2) 申請日：平成18年12月22日
 内容： 理事の変更

4. 平成18年度事業日誌

平成18年

- 5月9日 平成18年度第1回理事会、第1回評議員会及び第2回理事会開催
- 5月19日 平成18年度前期国際論文発表者助成会開催
- 6月8日 平成18年度第1回調査研究運営委員会開催
 - 議題1 平成17年度調査研究報告
 - 議題2 平成17年度調査研究事業収支決算報告
 - 議題3 平成18年度事業中間報告
 - 議題4 平成18年度調査研究事業予算案
- 6月29日 予備審査委員会(2006年度C&C賞受賞者選考)
- 7月 4日 平成18年度第1回審査委員会開催
 - － 2006年度C&C賞受賞候補者の選考
- 7月26日 平成18年度第2回評議員会及び第3回理事会開催
- 11月10日 平成18年度後期国際論文発表者助成会開催
- 11月14日 平成18年度第2回審査委員会開催
 - － 平成18年度C&C若手優秀論文賞受賞者の選考
 - － 平成18年度若手研究員助成者の選考
 - － 平成19年度外国人研究員助成者の選考
- 11月29日 2006年度C&C賞表彰式典をホテル日航東京にて挙行

平成19年

- 1月12日 C&C振興財団シンポジウム開催
- 1月26日 C&C若手優秀論文賞表彰及び研究助成会開催
 - 平成18年度C&C若手優秀論文賞受賞者表彰並びに、平成18年度若手研究員及び平成19年度外国人研究員助成証書伝達
- 1月31日 平成18年度第2回調査研究運営委員会開催
 - 議題1 平成18年度調査研究事業中間報告
 - 議題2 平成19年度調査研究事業企画案
- 2月13日 平成18年度第3回審査委員会開催
 - － 平成19年度事業計画の審議
- 3月 7日 平成18年度第3回評議員会及び第4回理事会開催

この間、平成18年9月と平成19年3月に国際会議論文発表者助成の書類選考が審査委員によって行われた。